

石井久雄教授 略歴

石井久雄教授
略歴

1950年11月11日 千葉県に生まれる 在住は東京都

○学 歴

1973年 3月 東北大学文学部卒業, 国語学専攻

1975年 3月 東北大学大学院文学研究科修士課程修了, 国語学専攻

1977年 3月 東北大学大学院文学研究科博士課程中退

○職 歴

1977年 4月 国立国語研究所研究員, 日本語教育センター

1986年 4月 同, 言語体系研究部

1998年 4月 武蔵大学教授, 人文学部日本文化学科

2001年 4月 同志社大学教授, 文学部国文学科

○主要論文

1977年 6月 中世日本語のオ段長音の涉り音。

東北大学, 国語学研究 16 pp.34-42。

1983年12月 『蜷縮涼鼓集』「新撰音韻之図」讚。

東北大学, 国語学研究 23 pp.11-19。

1984年10月 日本語語彙・表記などについての日本人の知識・感覚の一側面。

国立国語研究所, 日本語教育論集 1 pp.1-20。

1986年 3月 あるラテン語動詞活用表。

国立国語研究所報告 85 研究報告集 7 pp.171-187。

1988年 3月 本文批判。 国立国語研究所報告 94 研究報告集 9 pp.1-25。

1988年11月 御伽草子。佐藤喜代治編・明治書院刊 漢字講座

6 中世の漢字とことば pp. 305-332。

1990年 3月 『中央公論』1986年の用語。

国立国語研究所報告 101 研究報告集 11 pp.1-40。

v 1990年12月 御伽草子『狭衣の中將』の仮名の出現頻度の観測誤差について。

計量国語学 17.7 pp.328-353。

1992年 3月 昔はどう言ったかと, 知りたいとき。

国立国語研究所報告 104 研究報告集 13 pp.31-76。

- 2000年2月 小倉百人一首本阿彌光悦書仮名纂録試行。
武蔵大学人文学会雑誌 31.2 pp.81-120。
- 2001年12月 言語史の一面。 同志社国文学 55 pp.1-11。
- 2001年12月 ひらがなの文法性・語彙性。
同志社大学留学生別科紀要 1 pp.1-14。
- 2002年1月 文字がきりひらく言語。
玉村文郎編・明治書院刊 日本語学と言語学 pp.1-11。
- 2004年11月 日本語に並存・混在する他言語。 同志社国文学 61 pp.482-473。
- 2006年3月 平仮名交じり御成敗式目の本文。 同大語彙研究 8 pp.49-67。
- 2007年9月 昭和前期の国語研究におけるソシユール。
加藤正信編・明治書院刊 国語論究 13 pp.252-271。
- 2009年3月 古今和歌集元永本における短歌表記の漢字。
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 3 pp.1-21。
- 2013年3月 万葉集における仮名と漢字。 同志社国文学 78 pp.168-157。
- 2014年7月 現代における古今和歌集表記の漢字。
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 8 pp.1-22。
- 2014年11月 和漢朗詠集近世板本の短歌表記における漢字。
同志社国文学 81 pp.467-455。
- 2015年3月 万葉集巻第十九の和歌表記の漢字。
同志社大学, 文化学年報 64 pp.1-23。
- 2015年3月 和漢朗詠集旧御物卷子本の和歌表記の漢字。
同志社大学, 人文学 195 pp.372-320。
- 2015年3月 とはすがたり全用語全事例辞典 起稿。
同志社日本語研究 18 pp.1-10。